

北九州空港機能強化・利用促進等調査特別委員会の調査研究スケジュール案

令和7年11月 北九州空港機能強化・利用促進等調査特別委員会

No.	調査研究項目	市議会が考える調査研究内容	1年目 （令和7年10月～令和8年1月）	2年目 （令和8年2月～令和9年1月）	必要に 応じて	3年目 （令和9年2月～令和10年1月） ※令和9年8月 3,000m化滑走路供用開始	4年目 （令和10年2月～令和10年12月）	調査研究を通じ 目指すべき姿	
1	北九州空港の更なる利用促進及び物流機能のあり方	① 国内外の旅客需要の取り込みに向けた、路線（旅客）誘致、集客、アクセス、プロモーション等	前任期の 審査結果のおさらい、 北九州空港の 現地視察	北九州空港への路線（旅客）誘致、集客、アクセス向上を含む利用促進の状況等の調査研究				今 任 期 の 報 告 取 り ま と め	・国内外をターゲットにさらなる利用者数増に向けた取組を続ける
		② 物流拠点空港に向けた、路線誘致（貨物）、機能強化、集貨、物流事業者の集積、通関体制の構築等		物流拠点化に向けた路線（貨物）誘致、機能強化、集貨、物流事業者の集積の状況等の調査研究					・滑走路3,000m供用開始を起爆剤に、貨物取扱量増に向けた取組を続ける
2	東九州新幹線を含む北九州空港周辺のアクセス機能のあり方	① 東九州新幹線の早期実現 ② 東九州自動車道4車線化の早期実現、未開通区間の早期整備 ③ 北九州空港へのアクセス向上に関する取組の状況等		事業進捗状況等の調査研究					・常に最新の情報を収集しながら、適宜要望等の活動を行う。
3	北九州空港に関する福岡県及び近隣自治体との連携のあり方	※他項目の進捗を勘案のうえ、必要に応じて周辺自治体との意見交換等を実施		県や近隣自治体との連携強化に向けた調査研究					・本市議会・本市と、福岡県議会・同県が軌を一にし、北九州空港の発展に取り組む
4	北九州空港の運営のあり方	① 他空港の導入、検討状況の情報収集 ※北九州空港が導入した場合のメリット・デメリットの研究	情報収集及び調査研究				・必要な調査研究を十分に行う		